

会 議 録

会議の名称		令和 7 年度第 2 回桜並木学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和 7 年 7 月 10 日 開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所		並木小学校図書室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	南 栄一、丸山 美知江、山中 真弓、天谷 恭子、 樽味 幸恵、増田 望、大平 佳代、鈴木 一成 飯泉 法男、木村 徳一、根津 陽子、永田 孝男 松村 直子 奥沢 志乃、大津 裕明、渡邊 聡、高崎 満、横山 賢裕 大村 千博、稲垣 章一、末永 康子		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 社会教育主事 村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員 酒井 和宏		
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	0 人
非公開の場合はその理由		つくば市情報公開条例第 5 条第 1 号（個人情報）に該当する情報を取り扱うため		
議題		熟議 テーマ「地域と連携した学校の諸問題の解決について」		
会議録署名人			確定年月日	令和 年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 前回の議事の確認 4 授業参観 5 協議 協議① 「予算案について」 協議② 「熟議：地域と連携した学校の諸問題の解決について」 6 その他 ・事務局より 次回の開催案内について			

	7 閉会
	＜審議内容＞ 1 開会 2 挨拶 会長挨拶、学園長挨拶 3 前回の議事確認 4 授業参観 5 協議 協議① 各校の予算案について ○並木小学校より（並木小稲垣教頭） ・サイエンスマジックショーを企画中（並木まつりでアナウンス） ・学校サポーター（ボランティア）への謝金・飲み物代 →各活動で参加いただけるか呼びかけ ・地域の皆さんのサポートで使う燃料・材料等 （木の剪定、除草作業等で使える） ○桜南小より（桜南小大津教頭） ・桜南フェスタでイベント・講演にかかる謝金・講師謝礼 ・奉仕作業等の燃料・飲み物代 ○並木中学校より（並木中高崎教頭） ・並木まつりの参加に係る諸費 ・音楽会で地域の方にも参加していただく内容を企画中 質問：ボランティアへの呼びかけ方法はどのように考えているか。 回答：チラシ・電子ファイル等で配布を考えている。→南委員から配布をお願いしたいと考えている。 質問：ボランティアへの謝礼は辞退できるか。 回答：これから謝金については学園で統一して考えていく。 協議② 熟議「地域と連携した学校の諸問題の解決について」

○並木小

- ・子供たちの安全性確保→不審者情報の速やかな配信
- ・環境・施設→地域のサポーター呼びかけ→ワッペンなどをつけてパトロール
- ・保護者の居場所→地域の交流の場・学校の施設開放
- ・外国籍の児童の対応→保護者ボランティア・ピアサポート制度を取り入れる。

○桜南小

- ・環境整備→保護者・地域のみなさんのサポート
- ・子供たちの下校時見守り→地域・市への依頼をしていく。

○並木中

- ・環境整備→地域への呼びかけ
- ・部活動地域展開→計画的に外部人材を見つけていく。
- ・連携のための機会を増やす→問題にも気付いていただけることがメリット

6 その他

○次回の開催案内について（稲垣教頭より）

第3回は9月22日（月）10時から、桜南小で実施する。

（生涯学習推進課より）

○区会のチラシ配布について

（その他）

○並木幼稚園の跡地について

- ・地域から要望書を出すことで、新しい施設にしてもらうことはできるのか
- ・令和8年度に取り壊すことは決まっている

7 閉会

以上を持って、令和7年度 第2回 桜並木学園コミュニティ・スクール協議会を閉会する。

令和7年度第2回桜並木学園コミュニティ・スクール 協議会

日時: 令和7年7月10日(木)

10:00～12:00

場所: 並木小学校 図書室

— 次 第 —

1 開会

2 挨拶

- ・会長より
- ・学園長より

3 前回の議事の確認

- ・会長より

4 授業参観

- ・並木小学校教務主任より案内
- ・詳細は校舎案内図を参照

5 協議

協議①「予算案について」

協議②「熟議: 地域と連携した学校の諸問題の解決について」

6 その他

- ・事務局より
次回の開催案内について

7 閉会

会 議 録

会議の名称		第1回 桜並木学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和7年5月12日 開会 10:00 閉会 12:00		
開催場所		並木中学校会議室B		
事務局（担当課）		生涯学習推進課		
出席者	委員	南 栄一、丸山 美知江、山中 真弓、齋藤 樹恵 増田 望、大平 佳代、樽味 幸恵、鈴木 一成 飯泉 法男、木村 徳一、根津 陽子、永田 孝男 松村 直子 奥沢 志乃、大津 裕明、三村 弘樹 大村 千博、稲垣 章一、末永 康子 渡邊 聡、高崎 満、横山 賢裕		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 係長：飯島 遊 教育局生涯学習推進課 社会教育主事：村上 和宏 教育局生涯学習推進課 地域連携教育指導員：酒井 和宏		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議 テーマ「地域と学校の連携事業に必要なものは」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会 議 次 第	1 開 会 2 任命書交付 3 挨拶 4 説明事項 つくば市のコミュニティ・スクールについて 5 会長・副会長の選出 6 協 議 (1) 学園運営の基本方針について (2) 学校の教育活動や地域の活動事例の紹介 (3) 熟議 テーマ「地域と学校の連携事業に必要なものは」 (4) その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について			

<審議内容>

1 開会

自己紹介

2 任命書交付

- ・机上の任命書を確認

3 挨拶

- ・学園長挨拶

4 説明事項

- ・つくば市のコミュニティ・スクールについて
(村上社会教育主事より)

(1) つくば市の教育が目指すもの

- ・教育大綱の最上位目標「一人ひとりが幸せな人生を送ること」
- ・つくばの「学び」実現に向けて
- ・保護者・学校・地域・行政 社会全体で子供たちの育ちを支える。

(2) コミュニティ・スクールについて

- ・一言でいうと、「地域とともに子供を育む学校」である。
- ・学校運営協議会が設置されている学校がコミュニティ・スクールということである。
- ・コミュニティ・スクールの話合いは、徐々に地域の方に進行をお願いしたい。

(3) つくば市で進めるコミュニティ・スクール

- ①学校運営の基本方針の承認
- ②学校運営に意見を述べることができる。
- ③教職員の任用について意見を述べることができる。
- ④学校評価

- ・つくば市のコミュニティ・スクールには以上4つの機能がある。

(4) CS協議会委員の立場及び責務

- ・ 特別職の地方公務員である。
- ・ 委員は、その地位を営利活動、政治活動、宗教活動等に利用する行為をしてはならない。
- ・ 委員は職務上知った情報を漏らしてはならない。

(5) コミュニティ・スクール協議会と地域学校協働活動

- ・ 地域学校協働活動推進員（CSコーディネーター）がコーディネートする。

5 会長・副会長の選出

- ・ 事務局提案により、南 栄一委員が座会長、丸山 美知江委員を副会長に提案
→ 了解を得る
- ・ 南委員と丸山委員の挨拶

6 協議

(1) 学校運営の基本方針について

○ 学園グランドデザインについての説明

並木中学校より（渡邊校長）

- ・ 桜並木学園の教育目標は、つくば市教育大綱「教えから学びへ」「管理から自己決定へ」「認知能力偏重から非認知能力の再認識へ」をもとに「自ら未来をひらく力の育成」と設定した。
- ・ 学校の教育力、家庭の教育力、地域の教育力をもとに、学園の目指す児童生徒像に向かっていく。

(2) 学校の教育活動の紹介

（桜南小大津教頭より）

- ・ 全人的成長を目指すために、イメージは「金平糖」である。
- ・ 知徳体バランスよく育てたい。
- ・ 一人一人の個性を受け止める。

研究主題

「わからない」に向き合える。自分から意欲的に学べる児童の育成

確かな学力の習得

- ・考えたこと・判断したことを適切な言葉で伝える
- ・わからないことにもあきらめずに向き合う
- ・C Sに向けて

ボランティアの活用

桜南フェスタ

(並木小稲垣教頭より)

- ・学園グランドデザインを受けて、組織目標を決定
- ・目指す児童像は、「知・徳・体」をバランスよく育てていく
- ・目指す学校像は、C Sを基盤とする保護者・地域とともに児童を育む活力ある学校を目指している。

(並木中横山教務主任より)

- ・組織目標は、今年度は「自己調整力」をキーワードに進めていく。
哲学対話は、非認知能力の育成を目指しつつ、認知能力（学力）の向上も目指す。
- ・A I活用は、日々新しくなっている状況なので、教員は研修を行いながら、生徒に還元していく。

(質疑応答)

(根津委員)

学園のグランドデザインをA 4サイズでいただきたい。いつでも立ち返るようにしたい。

(松村委員)

自己調整力と哲学対話について詳しく知りたい。

- ・グランドデザインの承認について → 承認

(3) 熟議

- ・「地域と学校の連携事業に必要なものは」
各校予算が出ているので、その使い方を話し合う。

(高崎教頭より説明)

(各校熟議)

(南座長)

- ・ボランティアで行う部分と謝礼でお願いする線引きが難しいが、話合いをしていただきたい。

- ・三校で同意したもの

学校教育パートナーの募集のチラシの作成

幟を各校2本ずつ作成

講師・ボランティア謝礼について

「学習支援・子ども見守り支援・体験補助」は、保護者は除く

「出前授業等講師・環境整備支援」は、保護者も含める

P T Aで主催する除草作業は含めない。

- (4) コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

高崎教頭より

第2回は7月10日(木)10時から、並木小で実施する。

7 閉会

以上を持ちまして、令和7年度 第1回 桜並木学園コミュニティ・スクール協議会を閉会します。